



STOP! 介護崩壊 介護ウェブ2010 推進ニュース

— 介護ウェブの “Big Wave” をおこそう! —

方針「今後の介護ウェブの取り組みについて」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう!

学習会と立川駅頭宣伝・署名行動に32名が参加!

利用者・家族が守られていない、必要な人にサービスが届いていないことを再認識(東京)

12月16日に、東京民医連理事の及川正彦さんを講師に『私たちのめざす「地域包括ケア」と介護ウェブの課題』と題して学習会を行い、32名が参加しました。

7月に山田智先生を講師に、地域包括ケアの基本動向を学んだ後の制度改定の動向や最新情報、介護ウェブの意義、民医連の今後の運動や介護事業に向けた基本点がわかりやすく解説されました。特に、民医連「介護保険検証10年」報告書にある実態には、健生会グループからも多数の事例を提出しましたが、本当に利用者・家族が守られていない、必要な人にサービスが届いていないことを再認識させられました。

学習会を終えた参加者はクリスマスイルミネーション一杯の立川駅へ。署名・ハンドマイクデビューのケアマネジャーも多数。駅では地域社保協などが実行委員の「年末なんでも相談村」の宣伝隊も一緒になり、「生存権を訴える」元気のでのる行動になりました。今年一番の寒さにもかかわらず、80名を超える方に署名に賛同していただきました。職業がら署名だけでは終わらず、介護相談にもものるなど、各所で話し込む姿も。障害をもつ方も賛同し懸命に名前を書いてくれました。「ひらがなで名字しか書けないけど・・・」と。託された願いの重さを実感し、想いを国会に届け、地域での運動と事業をますます広げていこうと、大切なことを学ばされた宣伝行動でした。

(東京民医連介護ウェブニュースNo. 52 2010年12月22日より)



家族の思いを受け止めてほしい、今後もこの様な会を持ってほしい 12月11日に、「地域で介護する家族懇談会」を開催！32名が参加(長野)



今年、福祉会あずみの里介護ウェブでは、「署名以上のことを実施しよう」と方針をかかげ、取り組んできました。この間の報道等を振り返ると、「特養待機者」「施設不足」と耳にすることが多くなっています。そのような時、民医連新聞に、特養待機者懇談会を行い行政に声を届けた事で、施設建設増につながった、石川民医連の「社会福祉法人やすらぎ福祉会」の取り組みが紹介されており、「あずみの里でもやろう」と、やすらぎ福祉会に連絡を取り、この間の資料・手法を教えていただきながら取り組んできました。

まずは、特養申し込み者を相談員と調べると、なんと 900 人。全員となると膨大になるため、自施設がある安曇野市の方 307 名に絞りました。突然の失礼を承知にアンケートを郵送し、お宅訪問協力・懇談会参加の賛否等をたずね、懇談会参加希望の方約 60 名に懇談会案内を郵送しました。当日ご参加されたご家族は 32 名と職員 10 名でした。ご参加頂いたご家族、職員共々緊張の始まりでしたが、会が進むにつれ雰囲気も和らぎ実際の意見交換（グループワーク）では、日頃の不安・困難等が予定時時間を越えて出されました。

参加したご家族からは、「今の状況を話す事で少し気が晴れました」、「ここに来た方は皆さん同じ気持ちで過ごしているという事がわかりました」、「皆さんと意見交流が出来た事で頑張ろうと思いました」、「アンケートの結果が聞けて良かった」、「点数化して入所の順位を決めるなど少しわかったので良かった」、「家族の思いを受け止めてほしい」、「今後もこの様な会を持ってほしい」、「オムツのあて方、食事の介助方法を教えて下さい」等、多くの想いが寄せられました。

今回の第 1 回目の会を経て、職員からは、「施設不足、入所できない現状は家族崩壊の危機に繋がっている」、「もっと自分達が学んで知らせなきゃ」、「外へ出て行かなきゃ」等の感想が寄せられ、自分達の役割、求められている事が実際の声と共に確信となり推進メンバーをはじめ、職員の方向性の確認となりました。また、「民医連鋼領」の実践・討議としても肌で感じる事ができたのではないかと思います。早速振り返りの会では、第 2 回目の内容討議とお宅訪問の内容が企画されています。

ちょっと裏話ですが、懇談会のネーミングを考えるにあたり、当初は「特養待機者家族の会」としていましたが、待機者じゃなくなったら終わり？との疑問から「地域で介護する家族懇談会」となりました。思いの表れです！

(社会福祉法人協立福祉会 福祉介護ウェブニュースNo. 2 2010. 12. 24より)



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp